

## 5 音楽

### (1) 第1学年

#### ① 分析と生徒の状況

##### ア 分析

1年生の学習状況については、授業評価アンケート等から、以下のような特徴が見られた。

- ・音楽が好きで積極的に取り組む生徒が多い。
- ・ペア活動やグループ活動の取り組みにも積極的で、全員が話に参加できるような雰囲気をつくるができている。
- ・表現活動にも消極的な面をもつ生徒への声掛けをするなどできる生徒がいる。
- ・興味関心を持つ生徒が84%であるので、音楽が楽しいと思える生徒を増やしていけるように、研鑽を重ねていく。

##### イ 学力の状況

1年生の音楽の学力について、以下のような傾向が見られた。

- ・音楽表現の創意工夫に関して、思いや意図を音楽の要素や楽曲の構成に結び付けて感じ取ることができる力が身についてきた。
- ・音楽表現の技能の学習に対して、体の構造や歌声の出し方を理解しようと努力している。
- ・鑑賞の能力に関する学習への取組は、提供する話題に対して意欲的な反応が多く見られ、活発な授業展開ができている。

#### ② 本校の課題

##### ア 学習面（生徒の課題）

- ・音楽の要素や楽曲の構造の知識的理解を深め、思いや意図につながる根拠として積極的に感じ取れる力を身につける。
- ・表現に関する基礎的な知識や読譜力等を身に付け、自ら考え積極的に表現する力を付ける必要がある。

##### イ 指導面（教師の課題）

- ・パートごとでの実技練習など、グループ活動が多いため、小さな目標からリーダー中心に考えさせ、全員が目標に向かって向かう事できるように配慮・指示をしていく。
- ・実技が苦手な生徒への対応として、子どもたちで声かけができる雰囲気作りを常に心がけ、スモールステップから出来ることを増やし、自信をつけさせる。

#### ③ 授業改善案

##### ア 言語活動の取組

- ・言語活動に必要な基礎的な知識や読譜力等を身に付けられるようにする。スモールステップにより、話す力、高めあう力を身につけていく。

##### イ 特別支援教育の視点を取り入れた授業への取組

- ・ホワイトボードや、パワーポイント等での映像や道具を使って、視覚的にわかりやすい説明や活動を研鑽する。

##### ウ 家庭学習の定着

- ・基本的な歌声の出し方など、自宅で簡単にできる方法を伝え、少しずつ基本的技能が身につくことができるように指導する。

## (2) 第2学年

### ① 分析と生徒の状況

#### ア 分析

2年生の学習状況については、授業評価アンケート等から、以下のような特徴が見られた。

- ・音楽が好きで積極的に取り組む生徒が多い。
- ・ペア活動やグループ活動(パート練習など)の取り組みに際して、リーダーが中心となり、活発な雰囲気で行うことができる。
- ・堂々と、自分の思いを歌声にして表現できる。
- ・興味関心を持つ生徒が83%であるので、音楽が楽しいと思える生徒を増やしていけるように、研鑽を重ねていく。

#### イ 学力の状況

2年生の音楽の学力について、以下のような傾向が見られた。

- ・音楽表現の創意工夫に関して、思いや意図を音楽の要素や楽曲の構成に結び付けて感じ取ることができる力が身についてきた。
- ・音楽表現の技能の学習に対して、体の構造や歌声の出し方を理解し、体感しようと努力している。
- ・鑑賞の能力に関する学習への取組は、提供する話題に対して意欲的な反応が多く見られ、活発な授業展開がされている。

### ② 本校の課題

#### ア 学習面(生徒の課題)

- ・音楽の要素や楽曲の構造の知識的理解を深め、思いや意図につながる根拠として積極的に感じ取れる力を身につける。
- ・表現に関する基礎的な知識や読譜力等を身に付け、自ら考え積極的に表現する力を付ける必要がある。

#### イ 指導面(教師の課題)

- ・パートごとでの実技練習など、グループ活動が多いため、小さな目標からリーダー中心に考えさせ、全員が目標に向かって向かうことができるように配慮・指示をしていく。
- ・実技が苦手な生徒への対応として、子どもたちで声かけができる雰囲気作りを常に心がけ、スモールステップから出来ることを増やし、自信をつけさせる。

### ③ 授業改善案

#### ア 言語活動の取組

- ・言語活動に必要な基礎的な知識や読譜力等を身に付けられるようにする。スモールステップにより、話す力、高めあう力を身につけていく。

#### イ 特別支援教育の視点を取り入れた授業への取組

- ・ホワイトボードや、パワーポイント等での映像や道具を使って、視覚的にわかりやすい説明や活動を研鑽する。

#### ウ 家庭学習の定着

- ・基本的な歌声の出し方など、自宅で簡単にできる方法を伝え、少しずつ基本的技能が身につくことができるように指導する。

### (3) 第3学年

#### ① 分析と生徒の状況

##### ア 分析

3年生の学習状況については、授業評価アンケート等から、以下のような特徴が見られた。

- ・授業に対して一生懸命に取り組む生徒が多い。
- ・ペア活動やグループ活動の取り組みにはリーダーが指示を的確に行い、全員が前向きに参加できるような雰囲気をつくるができている。
- ・表現活動にも消極的な面をもつ生徒への声掛けをするなどできる生徒がいる。
- ・興味関心を持つ生徒が86%であるので、音楽が楽しいと思える生徒を更に増やしていけるように、研鑽を重ねていく。

##### イ 学力の状況

3年生の音楽の学力について、以下のような傾向が見られた。

- ・音楽表現の創意工夫に関して、思いや意図を音楽の要素や楽曲の構成に結び付けて感じ取り、理解することができる力が身についてきた。
- ・音楽表現の技能の学習に対して、体の構造や歌声の出し方を理解し、体感しようと努力している。
- ・鑑賞の能力に関する学習への取組は、提供する話題に対して意欲的な反応が多く見られ、活発な授業展開ができている。

#### ② 本校の課題

##### ア 学習面（生徒の課題）

- ・音楽の要素や楽曲の構造の知識的理解を深め、思いや意図につながる根拠として積極的に感じ取り、言葉で説明できる力を身につける。
- ・表現に関する基礎的な知識や読譜力等を身に付け、自ら考え表現する力を付ける必要がある。

##### イ 指導面（教師の課題）

- ・パートごとでの実技練習など、グループ活動が多いため、小さな目標からリーダー中心に考えさせ、全員が目標に向かって向かう事できるように配慮・指示をしていく。
- ・実技が苦手な生徒への対応として、子どもたちで声かけができる雰囲気作りを常に心がけ、スモールステップから出来ることを増やし、自信をつけさせる。

#### ③ 授業改善案

##### ア 言語活動の取組

- ・言語活動に必要な基礎的な知識や読譜力等を身に付けられるようにする。スモールステップにより、話す力、高めあう力を身につけていく。

##### イ 特別支援教育の視点を取り入れた授業への取組

- ・ホワイトボードや、パワーポイント等での映像や道具を使って、視覚的にわかりやすい説明や活動を研鑽する。

##### ウ 家庭学習の定着

- ・基本的な歌声の出し方など、自宅で簡単にできる方法を伝え、少しずつ基本的技能が身につくことができるように指導する。